



公益財団法人愛知県文化振興事業団

2018年 11月 7日 (水)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ
☎ 052-955-5506

<Press Release>

報道各位



ダンス・コンサート Manuel Legris 『Stars in Blue』 BALLET & MUSIC

平素より愛知県芸術劇場の活動につきまして、ご理解・ご支援賜りありがとうございます。
さて、見出しのとおりプレスリリースを送付いたします。
ご多忙中恐縮ですが、ご一読の上、ご取材等いただければ幸いです。

お問合せ

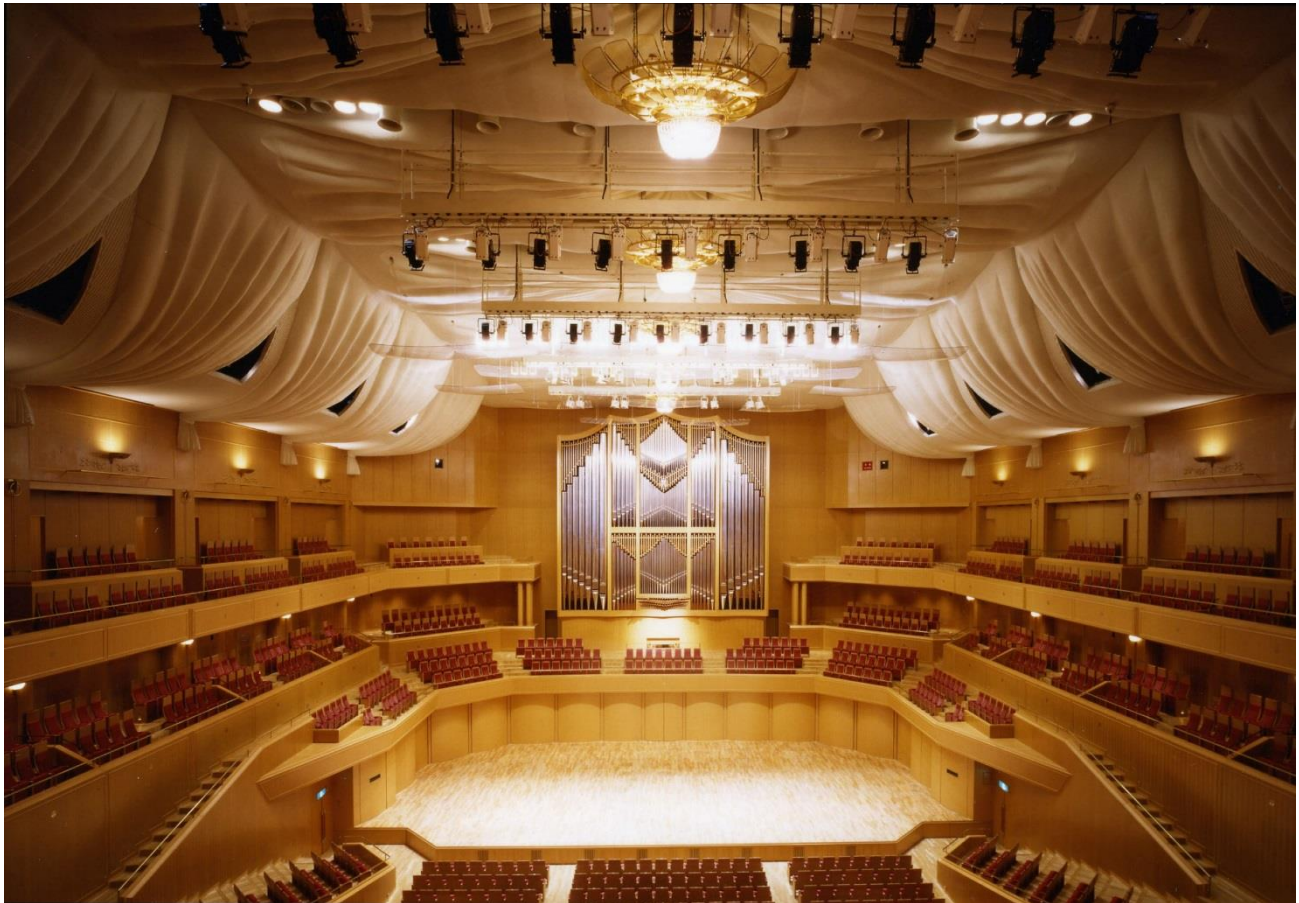
愛知県芸術劇場 (公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ (武石) 企画制作グループ (唐津・加藤)

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 ☎ 052-955-5506 Fax 052-971-5541

Mail : mkt@aaf.or.jp

<http://www.aac.pref.aichi.jp/>



世界初演の連続！ 至高の「ダンス」×「音楽」をコンサートホールで

ダンス・コンサートは、世界トップクラスの「ダンス」と「音楽」を、同時にコンサートホールでお楽しみいただける公演です。当劇場が企画・制作するオリジナルのシリーズとして、2016年からスタートし、3回目を迎えます。さらに今回は、当劇場だけではなく、東京、大阪、宮崎でも上演されます。

ダンスを担当するのは、パリ・オペラ座バレエ団のエトワールを経て、現在ウィーン国立バレエ団の芸術監督を務めるマニュエル・ルグリ。絶大な人気を誇る彼が、ポリショイ・バレエやウィーン国立バレエ団に所属するプリンシパル（主役級）のダンサーと共に、新作を含んだプログラムをお届けします。

音楽を担当するのは、09年にハノーファ国際コンクールにおいて史上最年少で優勝し、NHK大河ドラマ『真田丸』のテーマで話題を呼んだ三浦文彰と、国内外のリサイタルに加え、2017年度京都市芸術新人賞を受賞したピアニストの田村響（愛知県安城市出身）です。2人が奏でる演奏に乗せて、4名のトップバレエ・ダンサーが、その磨き上げられた身体を使って華麗にバレエを披露します。



マニユエル・ルグリ(左)とオルガ・スミルノワ(右)

木本全優(左)とセミヨン・チュージン(右)

マニユエル・ルグリ率いる世界トップクラスのバレエ・ダンサーが集結！

出演するバレエ・ダンサーは、マニユエル・ルグリをはじめ、ポリショイ・バレエ・プリンシパルのオルガ・スミルノワとセミヨン・チュージン、ウィーン国立バレエ団・プリンシパルの木本全優の4名です。いずれもマニユエル・ルグリの信頼が厚い、国際的なバレエ・ダンサーです。ルグリは、新作で共演するオルガ・スミルノワに対して「彼女の才能はもちろん、芸術性、叙情性など私がバレエで一番大切にしている点に大変優れている」と、絶賛しています。また、木本全優とセミヨン・チュージンに対しても高く評価しています。2人はバレエとしては珍しい男性同士のデュエットを披露します。新作『鏡の中の鏡(仮)』にご期待ください。世界初演に加え、見逃せない作品が目白押しです。

また、普段「音楽」だけを聴くという方には、「ダンス」の魅力を感じるきっかけになることを願っています。劇場ではじめて公演をご覧になるという方も、至高の舞台芸術を実感いただけるプログラムになっています。

ウィーン国立バレエ団×ポリショイ・バレエのダンサーが新作を日本で発表

先述した『鏡の中の鏡(仮)』のほか、今回の見どころは、バレエ界のレジェンドであるマニユエル・ルグリと、ワガノワ・バレエ・アカデミーを首席で卒業した若きバレリーナ、オルガ・スミルノワの世界初共演です。振付家のパトリック・ド・バナは、「2つの文化の結婚へのチャレンジであり贈り物」と、共演作を表現しました。ウィーンとロシアの2大スターが、互いの文化の性質や年齢差などを活かして創作する作品は、日本はもちろん、世界中から注目されています。ルグリの円熟した踊り、若きバレエダンサーたちの力強いパフォーマンス、そして国内外で活躍する日本の音楽家の演奏が一体となって魅せる極上のバレエコンサートに是非ご期待ください！

公演情報

公演名 | ダンス・コンサート

Manuel Legris 『Stars in Blue』 BALLET & MUSIC

日時 | 2019年3月17日(日) 15:00開演 (14:15開場)

会場 | 愛知県芸術劇場 コンサートホール

入場料金 | 全席指定

S席 11,000円、A席 8,000円 (U25 4,000円)、B席 6,000円 (U25 3,000円)

C席 4,000円 (U25 2,000円)、プレミアムシート 14,000円、車椅子席 6,400円

※4歳以下のお子さまは入場できません。託児サービスあり (有料・要予約)

○託児サービス トットメイト (9:00~17:00) ☎0120-01-6069

※U25は公演日に25歳以下対象 (要証明書)

※車椅子席および団体割引 (10名以上) は事務局にて取扱い。

※やむを得ない事情により、内容・出演者等が変更になる場合があります。

発売日時 | **発売中**

販売場所 | ○愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス <http://www.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/syusai/>

○愛知芸術文化センター内プレイガイド (10:00~19:00) ☎052-972-0430

※土日祝は18:00まで。月曜定休、祝休日の場合は翌平日。

※購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。

○アイ・チケット ☎0570-00-5310

○チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード 488-593)

主催 | 愛知県芸術劇場

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

企画協力 | ベルチェ・アソシエイツ

ツアー情報 | ●東京公演 3月8日(金)・9日(土) 東京芸術劇場コンサートホール

●大阪公演 3月11日(月) ザ・シンフォニーホール

●宮崎公演 3月14日(木) メディキット県民文化センター (宮崎県立芸術劇場)

(詳細は各会場にお問い合わせください)

プロフィール

■ 出演バレエ・ダンサー



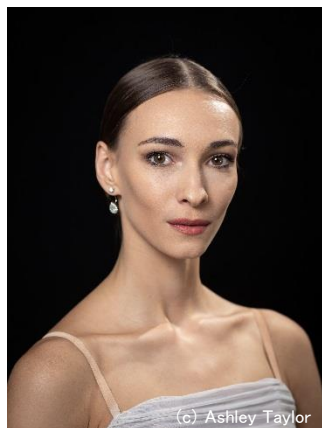
マニュエル・ルグリ Manuel LEGRIS

(元パリ・オペラ座エトワール/ウィーン国立バレエ団芸術監督)

フランス・パリ出身。パリ・オペラ座のバレエ学校で学び、1980年にパリ・オペラ座・バレエに入団。86年にパリ・オペラ座のバレエ芸術監督ルドルフ・ヌレエフによってエトワールに任命される。これまでに世界有数のバレエ団にゲスト出演。自身のプロデュースによる公演も世界各地で度々開催、現代バレエ界最高の男性ダンサーとして活躍している。2016年3月には自身初の全幕振付バレエ『海賊』を発表、この作品は18年5月のウィーン国立バレエ団日本公演でも上演、高く評価され、芸術監督、振付家としても比類なき才能を発揮している。同年10月には、ミラノ・スカラ座と共作でルグリ版『シルヴィア』新作初演を予定。日本では、12、15年の世界バレエ・フェスティバル、10、11、17年の自身のグループ公演、12年、18年のウィーン国立バレエ団日本公演でも踊りを披露している。

受賞歴

ニジンスキー賞（98年、00年世界最優秀ダンサー）、ブノワ賞（98年）、レオニード・マシン賞（00年）、Prix Positano（01年）ほか。
芸術文化勲章（シュヴァリエ 93年、オフィシエ 98年）、
国家勲章（メリット勲章 02年）、レジオンドヌール勲章（06年）、
芸術文化勲章コマンドゥール（09年）受勲 ほか



オルガ・スミルノワ Olga SMIRNOVA

(ボリショイ・バレエ プリンシパル)

ロシア・サンクトペテルブルグ出身、2011年にワガノワ・バレエ・アカデミーを首席で卒業し、ボリショイ・バレエにソリストとして入団。12年ファーストソリスト、13年リーディングソリスト、16年にプリンシパルに昇進。ボリショイ・バレエが世界に誇る若きプリンセス。在学中から海外ツアーの公演に参加し、近年ではアメリカン・バレエ・シアターやマリンスキー・バレエにも客演、伝統あるワガノワ・バレエ・アカデミー仕込みの優美さとボリショイのダイナミックさを合わせもち、新女王として確固たるキャリアを歩んでいる。

受賞歴

ミハイロフスキー劇場グランプリ グランプリ受賞（09年）、ブノワ賞（13年）、レオニード・マシーン賞（14年）ほか



セミヨン・チュージン Semyon CHUDIN
(ポリショイ・バレエ プリンシパル)

ロシア・バルナウル出身。ノヴォシビルスク・バレエ学校でアレクサンドル・シェレモフに学び、2003年に韓国のユニバーサル・バレエに入団。07年にスイスのチューリッヒ・バレエにプリンシパル・ダンサーとして移籍し、08～11年にはスタニスラフスキー・ネミローヴィチ＝ダンチェンコ記念モスクワ音楽劇場バレエのプリンシパル・ダンサーとして活躍。11年9月よりポリショイ・バレエでプリンシパルを務めている。ユーリー・ヴェトロフに師事。マイヨー『じゃじゃ馬馴らし』などのポリショイ初演の主演を踊っている。11年に東京バレエ団で『ジゼル』のアルブレヒトを客演。サンクトペテルブルグのミハイロフスキー劇場バレエ（08年）などにゲスト・ソリストとして出演している。

受賞歴

ブノワ賞（11年）、
サンクトペテルブルグの国際バレエフェスティバル「ダンス・オープン」グランプリ受賞（16年）



木本全優 Masayu KIMOTO
(ウィーン国立バレエ団プリンシパル)

兵庫県姫路市出身。3歳より中田バレエシアターにて、中田弥生に、2003年からはフランス・カンヌ・ロゼラ・ハイタワーに留学し、モニク・ルディエールに師事。04年にパリ国立高等音楽院に入学。06年に卒業し、同年アーロン・ワトキン率いるドレスデン州立歌劇場バレエに入団。08年にウィーン国立バレエ団に移籍。11年ドゥミソリスト、13年ソリストに昇格。17年プリンシパルに昇進。11年、ウィーン国立歌劇場&フォルクスオーパー後援会 Ballet Club よりプロモーション賞を受賞。

プロフィール

■ 出演音楽家



三浦文彰 Fumiaki MIURA
(ヴァイオリン)

2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びる。2012年以降、プラハ・フィルやシュトゥットガルト放送響との日本ツアー、ルーブルでのリサイタルでパリ・デビューと破竹の勢いで国際的な活動を展開している。18年は、I.ゴランとのリサイタル・ツアー、ロイヤル・リヴァプール・フィルとの日本ツアーを行い、サンクトペテルブルクの白夜祭でゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管、ロンドンでズーカーマン指揮ロイヤル・フィルと共演して大成功をおさめる。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス 1704年製作“Viotti”



田村響 Hibiki TAMURA
(ピアノ)

愛知県安城市出身。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、18歳でザルツブルク・モーツアルテウム音楽大学に留学。2007年に弱冠20歳でロン＝ティボー国際コンクールに優勝、一躍世界の注目を集める。以来、ビシュコフ指揮ケルン放送響の定期演奏会デビューおよび日本ツアーを行った他、これまでにN響、都響、新日フィル、日フィル、名フィル、京響、大阪フィルなど、日本各地の主要オーケストラと共演。ヨーロッパや日本でのリサイタル活動に加え、室内楽も積極的に取り組んでおり、マキシム・ヴェンゲーロフ、堀米ゆず子、宮田大、三浦文彰の各氏等と共演。2008年文化庁長官表彰・国際芸術部門、2015年第70回文化庁芸術祭音楽部門新人賞、2017年度京都市芸術新人賞などの受賞歴がある。京都市立芸術大学専任講師。